

ゴーヤーカーテンの涼しさのヒミツと効果



【 ゴーヤー日記 第5回 】

手のひらの大きさを超えるほどの立派な葉は、雲の間からのぞく、厳しい日差しを遮っています。窓の内側からは、葉と葉の間からキラキラと木漏れ日が差し込んでいます。

葉の隙間から爽やかな風も感じられます。

窓をしっかり覆って、日差しを遮ってるね！



ゴーヤーカーテンでなぜすずしくなるの？

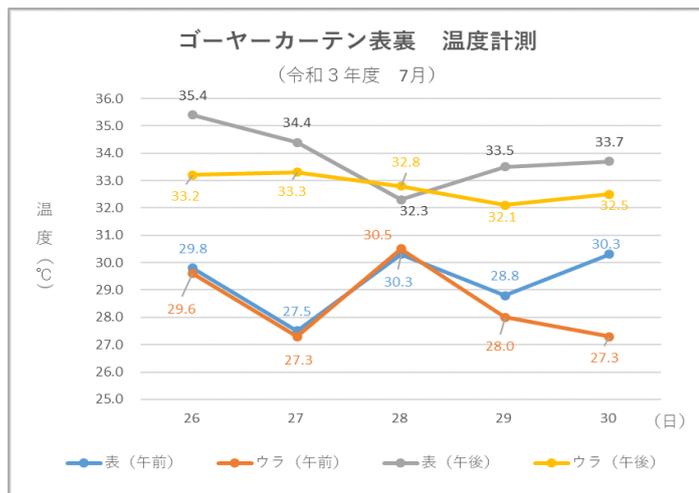
日光を遮るのに、すだれやブラインドも効果がありますが、日光にさらされたブラインドは熱をもち、まわりを温めてしまいます。それに比べ、ゴーヤーカーテンは、窓の外で葉が日差しをさえぎり(外断熱)、土の中の水を吸い上げて、葉から水分が蒸散するときに、周囲の熱をうばう(気化熱)のでより涼しさを感じられます。

また、すだれと比べて、葉と葉の間に隙間があるため、風通しも抜群です。

外断熱と蒸散作用のダブル効果



ゴーヤーカーテンの表側(日なた)と裏側(日陰)の気温を計測した結果、葉の裏側(日陰)のほうが平均で1℃、最大で3℃、温度が低い結果となりました。



ゴーヤーカーテンで、直射日光を遮ることで、部屋の温度上昇を抑えることができます。それによって、エアコンの使用量を抑えることができ、CO₂(二酸化炭素)の排出を減らすことができます。地球温暖化防止のためには、小さな積み重ねが大切です！

電気使用量による家庭での CO₂ 排出量を、計算してみましょう！

CO₂ 排出量
(kg-CO₂)

=

電気の使用量
(kWh)

×

電気の
CO₂ 排出係数
(kg-CO₂/kWh)

CO₂ 排出係数
(kg-CO₂/kWh)
0.334
(2018 年度)



CO₂ は 1kg=500ml ペットボトル 1000 本分の量になります。
(エアコンの設定温度を、**1℃**控えめにするとおおよそ、**10%の CO₂ 排出量を削減**できます。)

●参照：関西電力ホームページより ●算定方法・排出係数一覧：環境省より

エコ・アクション・ポイントでエコをお得に！



あえる・つづける・つながる
エコ・アクション・ポイント



ゴーヤーカーテン(=グリーンカーテン)の取組は、『エコ・アクション・ポイント』対象メニューの一つです！
エコな取組がお得につながりますよ♪
詳しくは下記、草津市ホームページをご覧ください。

<http://www.city.kusatsu.shiga.jp/kurashi/gomirecycle/ecostyleplaza/kankyuuhojokin/ecoactionpoint.html>

ゴーヤーの葉がさわさわと風の音をたてながら、揺れる姿にも涼しさを感じられます。暑さを和らげる知恵や工夫で、変わりゆく環境に適応していきたいですね。

みなさんのゴーヤーカーテンの写真や、取り組んだ感想、ゴーヤーを使ったレシピなどを募集します。

ご応募いただいた取組内容を確認のうえ、市ホームページ等に掲載させていただきます。



『ゴーヤー育成ガイド』

<http://www.city.kusatsu.shiga.jp/kurashi/gomirecycle/ecostyleplaza/ondankataisaku/goyacurtain.files/5180b894002.pdf>